

新1年生に文具セット

中村組が元吉原小へ寄贈

富士市田中新田の中村組（井澤省史社長）は4日、4月に元吉原小へ入学する新1年生のために文具60セットを寄贈した。

総務部長が同校を訪れ、児童代表の6年生3人と田中成人校長に手渡した。

文具セットは鉛筆1ダース、消しゴム2個、クリアファイル3枚、ノート2冊、鉛筆



井澤社長（左）から文具を受け取る児童代表

には「にゆうがくおめでとう」と「あかるいえがおで げんきなあいさつ」のメッセージを入れて祝福している。

寄贈は、同社のスローガン「地域とともに未来（あす）を拓（ひらく）」に基づく社会貢献活動の一環。地元への恩返しとして毎年実施しており、今回で

14回目を迎えた。

井澤社長は「新型コロナウイルスに負けずに、みんなで元気に勉強やスポーツを頑張つてほしい」と話した。

児童たちは「1年生の時に頂いたのを今も覚えていて。入学したばかりで緊張していたけど、これから小学校生活が始まるという気持ちになった」「地域の皆さんの期待に応えられるように中学校でも頑張りたい」「文具を頂いたときに、頑張ろうという気持ちになった。中学に行ってもその思いを持ち続けたい」と伝えた。

田中校長は「児童たちは地域の皆さんに支えられ、見守られて学校生活を送っている。文具を通じて地域を大切にする思いを持ってもらえるはず」と話して感謝した。